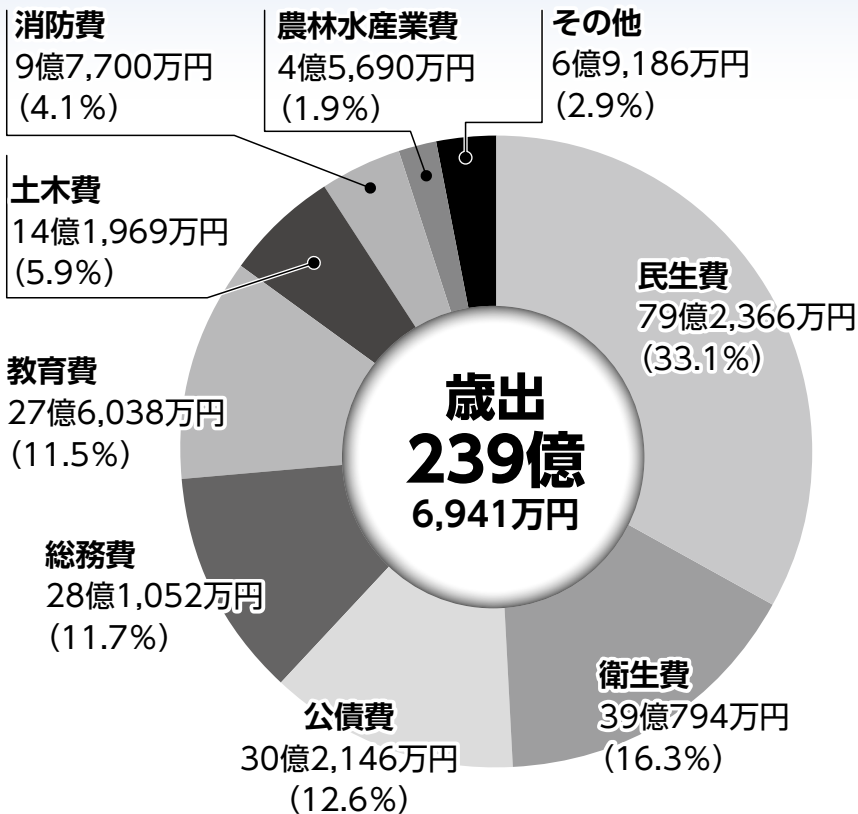


一般会計歳出



一般会計は、福祉や教育など基本的な行政サービスを行うための会計です。

用語の説明

民生費…高齢者や障害者、子育て支援など主に福祉のために使われるお金

衛生費…ごみ処理や水道、病院、健診など保健衛生や健康増進などに使われるお金

公債費…市が借り入れた地方債などの返済に使われるお金

総務費…人事管理、財産管理、地域振興、税務事務などに使われるお金



市債現在高

市の借金

市債（学校や道路などの整備に国や銀行などから借りたお金）の令和元年度末現在高は、一般会計と特別会計、公営企業会計の総額で441億5,847万円。前年度末に比べ12億8,666万円減りました。

会計名	令和元年度末	平成30年度末	増減額
一般会計	269億8,241万円	277億9,987万円	△8億1,746万円
下水道事業特別会計	113億7,164万円	118億5,050万円	△4億7,886万円
水道事業会計	54億3,322万円	54億3,270万円	52万円
病院事業会計	3億7,120万円	3億6,206万円	914万円
合計	441億5,847万円	454億4,513万円	△12億8,666万円

健全化判断比率

5つの比率で財政の健全度を判断する比率

数値は基準を下回っていますが、県内54市町村の中で、実質公債費比率・将来負担比率ともに**53位と最も悪いレベル**です。市の財政は非常に厳しい状況です。

指標	銚子市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 … 一般会計の赤字割合	—	12.82%	20.0%
連結実質赤字比率 … 市の全ての会計の赤字割合	—	17.82%	30.0%
実質公債費比率 … 借金の返済に窮していないか	13.2%	25.0%	35.0%
将来負担比率 … 将来世代にツケを先延ばししていないか	137.0%	350.0%	—

▲公営企業はいずれも資金不足は生じず、資金不足比率は生じませんでした。